

赤いつばめに乗ってプチ特別旅行を！出発式 県南地方の小旅行を楽しむ

5月8日、JR新白河駅前で、バスツアー「国鉄高速バス赤いつばめに乗ってプチ特別旅行を！」の出発式が行われました。これは、本市と矢祭山公園（矢祭町）を、旧国鉄の高速バス試験車で復刻デザインの「赤いつばめ」が結ぶツアーで、西白河郡と東白川郡の観光連携強化を目的に、ふくしまdestinationキャンペーンの一環として行われたものです。

参加者たちは、矢祭山公園のつつじ見学や各地での買い物など、県南地方の小旅行を楽しみました。



▲出発前の記念撮影

生活物資の確保及び供給に関する協定を締結 災害時に水や食料の安定供給を目指す

5月2日、本市を含む県南地方の9市町村は、白河青果(株)および丸水白河魚市場(株)と「災害時における生活物資の確保及び供給に関する協定」を締結しました。この協定は、東日本大震災時に物流が停滞した教訓を踏まえ、水や生鮮食料品などの供給を優先的に受けることで、住民生活の安全・安心を確保することを目的としています。

日ごろの備えをしっかりと行い、災害に強いまちづくりを進めていきます。



▲締結式の様子

ぐるり白河文化遺産ツアー 貴重な文化遺産の魅力と桜を満喫

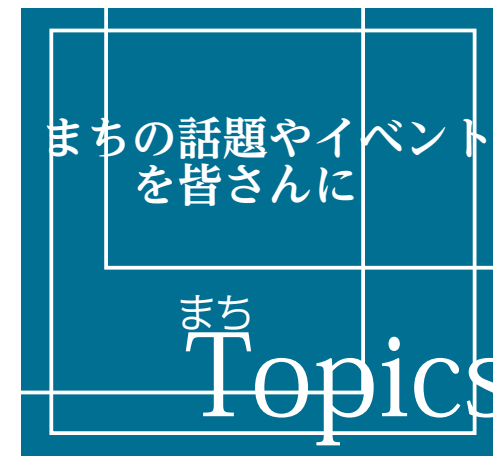
4月19日、今回で9回目となる「ぐるり白河文化遺産ツアー」が開催され、座禅・写経コース、桜の名所と小峰コースの2コースに、市内外から63人が参加しました。

参加者たちは、ボランティアガイド「ツーリズムガイド白河」の皆さんによる案内のもと、市内に保存された貴重な文化遺産の魅力に触れ、快晴の下で咲き誇る美しい桜を満喫していました。

次回のツアーは、10月末に開催される予定です。



▲満開の桜の下で小峰城石垣修復の説明を熱心に聞く参加者



▲再オープンを笑顔で祝う関係者

たんぼぼサロン開所式 親子憩いの場の再開を祝う

5月10日、NPO法人子育て環境を考える虹の会（永野美代子代表）の「たんぼぼサロン」が開所し、関係者が新たなスタートを祝いました。

東日本大震災後の平成23年5月に七番町で開所しましたが、会員の増加に伴い今回新たに郭内に移転したものです。開所式では、鈴木市長が「子どもたちが元気に過ごせるように地域の子育てを応援していきたい」と話しました。

サロンは親子に交流・集いの場を提供し、地域の中で安心して子育てができるような環境づくりを目指していて、専門家との連携による子育て相談にも応じていきます。会員制で、1回の利用料金は200円。毎週火曜日と金曜日、午前10時から午後3時まで開所しています。

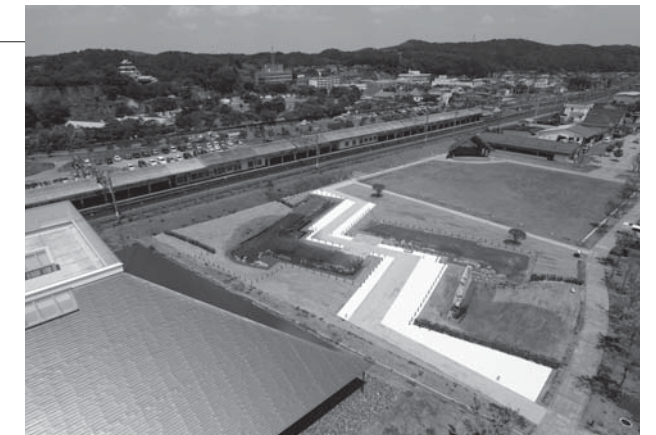


▲元気に遊ぶ子どもたち

都市景観大賞都市空間部門で「優秀賞」 小峰城跡・白河駅周辺地区が受賞

都市景観大賞都市空間部門は、公共的空間と建物等が一体となって優れた都市景観が形成、活用されている地区を表彰するものです。

このたび、本市、(株)楽市白河、NPO法人しらかわ建築サポートセンターが応募した「小峰城跡・白河駅周辺地区」が、自然・歴史・文化の融合した都市形成がなされていること、また、年間を通じて開催される行事等によってにぎわいが創出されていることなどが評価され、栄えある優秀賞を受賞しました。



▲優秀賞に輝いた小峰城跡・白河駅周辺地区